

民主クラブ

代表 西野 茂樹 ・ 副代表 小山 征三
幹事長 松尾 省勝 ・ 副幹事長 岩田 薫

一般質問(岩田 薫議員)

- 1 政治姿勢
 - (1) 第48回衆議院議員総選挙について
 - (2) 苫小牧市長選挙について
 - (3) JR北海道単独維持困難路線について
- 2 安全・安心のまちづくり
 - (1) 災害対策について
 - (2) 消防署日新出張所の建てかえについて
- 3 職員の働き方改革について



岩田 薫 議員

★第48回衆議院選挙で、2名の議員が選出されたことは、国とのパイプ役としてこれまで以上に期待するとの答弁がありました。

★次期市長選について岩倉市長は、後援会の意向、公約の達成率、自分の考えを踏まえてしかるべき時期に態度を表明するつもりです。

★JR問題では今後、状況変化があればこれまでどおり1市4町で協議していくつもりです。

★安全・安心のまちづくりでは、災害時業務継続計画を見直すにあたり、実態や熊本市の対応などを参考にするとしました。また、大雨3カ年事業では、市西地区での幹線整備が一定の効果があったことから、今後は、市東地区の整備に着手することとなりました。

一般質問(松尾省勝議員)

- 1 福祉行政
 - (1) 交通費助成制度について
 - (2) 2018年介護保険制度改正について
- 2 教育行政
 - (1) 中学校と町内会組織との活動連携について
- 3 交通行政
 - (1) 今後の地域公共交通について



松尾 省勝 議員
<http://m-matsuo.jimdo.com/>

★町内会活性化を次世代へ!

次世代を担う中学生が、地域との関わりを持つ大切さや、学校との地域相互の大きな財産となることについて質しました。

市側は、モデル地区を選定し、高齢化が進む町内会活動への参画も視野に町内会と中学校の協力体制を行うとしました。

★介護認定の適正化を!

2018年の介護保険法改正では、介護の関連施策の多くが改正されることになり、利用者が必要な介護サービスを受けられなくなる懸念があることから交付金の考え方を質しました。

市側は、利用者にあった適切なサービス利用の継続と介護認定に努めるとしました。

一般質問(小山征三議員)

- 1 政治姿勢
 - (1) 新年度予算編成について
 - (2) 新年度重点事業について
 - (3) 住民合意形成の手法について
- 2 違反建築物
 - (1) 建築基準法令違反について
 - (2) 消防法令違反について



小山 征三 議員
<http://www.tomakomai.or.jp/koyama/>

★IR誘致の意識調査を否定

市は「苫小牧市総合計画」や「ご当地ナンバーの導入」で、市民の意向や考え方を把握するためアンケート調査を行ったことから「IR誘致」に対しても市民がどのように受け止めているか、賛否ではなく意識調査のためにアンケート調査を実施すべきと提案しました。

しかし、市側は「十分にIRに関する情報を提供できない現状で、賛成、反対などの意見集約をしてもその指標を効果的に活用することは難しい」と答弁。岩倉市長は、「IRはカジノの看板があることを理由に「IRに誤解がある」として、市民セミナーや出前講座を通じてIRの理解を深めたいとし、アンケート調査を否定しました。

建設委員会(西野茂樹議員)

★公住施設の老朽化対策を

市より、公住外壁落下事故に引き続き自転車置き場の損壊が報告されたことを受けて、施設の老朽化、安全点検について質問しました。今回の損壊では人身被害はなかったものの、車両2台に損傷を与えました。

現状の安全点検、施設点検が不定期の状態であり、また、点検内容も目視に限られているなど点検の期間や内容について不十分であることを指摘するとともに、計画的な点検活動の実施とマニュアルの見直しを求めました。

市側からは、現状の体制を早急に見直し、計画的な点検計画の策定をするとの答弁がありました。

また、今回提出された、苫小牧市営住宅整備計画案について、2018年1月29日に、閉会中審査を行うこととしました。

